

「中国・アジア」ダイジェスト

2014.10.27-11.14

*記事は東京発行・最終版

CHINA

10月27日(月)

ターボ、中国・タイで追加投資
三菱重工／上海に第3工場
三菱重工業は、中国、タイの自動車用ターボチャージャー工場に2016年までに追加投資する。中国では生産計画を25％上方修正したことに伴い、上海市に3番目の組立工場を新設する。(1面)

10月28日(火)

一汽大衆、9月新車7.9％増
15万9057台
一汽大衆(独VWと一汽集団の合併)の9月の新車販売(「アウディ」ブランドの輸入車含む)は前年同月比7.9％増の15万9057台だった。VW系小型セダン2車種が2ケタの落ち込み。(5面)

ブジョー、販売会社を新設
東風集団と折半／神龍汽車の製販分離
仏ブジョー・シトロエン・グループは、中国同業の東風集団と折半出資で乗用車の販売会社を新設した。合併会社、神龍汽車の製販を分離し、今後の事業拡大をにらんだ措置としている。(5面)

KMT、中国で自社ブランド
ベアリング／現地の日系向け
KMTは、中国で自社ブランドのベアリング販売を12月にも始める。日本に限定していたが、中国・浙江省に設立した子会社を通じ現地の日系大手企業へ販売する。(7面)

10月29日(水)

日台と自動車部品で提携強化
寧波華翔電子
深圳証取の中小企業ボードに上場する自動車内装材メーカー・寧波華翔電子は、パートナーのイノアックコーポレーションおよび台湾の建上工業と、自動車部品で提携関係を強化する方針。(7面)

10月30日(木)

対日投資の拡大へ国別デスク
ジェトロ／中国・米国など
日本貿易振興機構は、対日投資の拡大に向け、米国や中国など主要国別の投資窓口をジェトロ本部に設置する。ドイ



ブリヂストンのベトナム工場開所式で握手する津谷正明CEO(左)とベトナムのグー・フイ・ホアン商工相(17日付)

ツ、韓国などのスタッフや現地語の話せるジェトロ職員が対応する。(3面)
VW、E20車種投入
低排出ガス車の補助金活用
独フォルクスワーゲンは、2018年末までに中国に20車種以上の電気自動車を導入する計画。低排出ガス車への補助金を活用する。当局は環境配慮型の自動車を500万台に増やす目標。(時事＝6面)

10月31日(金)

ドラム缶、中国2割増
JFEコンテナ／460万缶
JFEコンテナは、2014年度の中国での容量200％入りドラム缶の出荷量を約2割増の450万460万缶に設定。日本を含む全社出荷量に占める中国比率は過去最高を更新する。(13面)

11月3日(月)

資生堂、中国事業を抜本改革
店頭在庫を適正化／マケ現地化
資生堂は、中国事業の抜本的な構造改革を断行する。中間決算では中国事業の低迷などが響き大幅営業減益。2014年度中に中国で過剰な店頭在庫を適正化、マーケティングの現地化を加速。(11面)

11月4日(火)

グランフロント大阪、多言語化
飲食全84店メニュー／中・英・韓語
「グランフロント大阪」は、増加する外国人観光客に対応するため、カフェや

レストランなど飲食店舗全84店でメニュー表を多言語化する。対応言語は中国語・英語・韓国語。(21面)

11月5日(水)

中国・インドで生産
UDトラックス／大型
UDトラックスは、アジアでトラックの現地生産を拡大する。親会社でスウェーデンのボルボ・グループと連携して、2014年内にもインドと中国で大型トラックの生産を始める。(5面)
日立産機、中国統括会社
上海／空圧圧縮機など
日立産機システムは、中国事業を統括する新会社を上海市に設立した。空圧圧縮機など産業機器事業の製造や販売、サービスを網羅的に担う。現地主導型ビジネスを展開。(11面)

11月6日(木)

日本車・新車販売で明暗
日産など3社減／トヨタは増加
中国新車販売で日本車の明暗が分かっている。5社の10月の新車販売は日産自動車、ホンダなど3社が前年同月比で減少、4カ月連続の前年割れ。トヨタ自動車は3カ月連続で前年超え。(5面)
東朋テクノ、FA展示スペース
中国・インドネシア
東朋テクノロジは、中国とインドネシアで製品の販売機能を強化する。両国の現地法人にFA関連製品などの展示スペースを設けた。アジアへの展開強化やM&Aなどで事業規模を拡大。(7面)

10月31日(金)

山善、インドにショールーム
本社、郊外のグルガオンに移転
山善は、インド現地法人の本社をデリーから郊外のグルガオンに移転。併せて工作機械の常設展示やテストカットなどが行えるショールームも開設。インドではデリーなど6カ所に拠点。(7面)
タムラ製作所、ミャンマー合併
家電向けトランス
タムラ製作所は、電子部品製造でミャンマーに進出する。現地協力会社と合併会社。家電向けのトランスや温度ヒューズを生産。中国以外に輸出する製品を段階的にミャンマーにシフト。(9面)

11月3日(月)

曙ブレーキ、タイに合併
鋳鉄部品／月600トン
曙ブレーキ工業は、真岡製作所と共同でタイのラチャブリ工業団地内にブレーキキャリパー用鋳鉄部品の生産・販売会社を設立する。生産能力は月産600トン。東南アジア強化の一環。(6面)
ベトナム2輪、上期125万台
初の公式統計
ベトナム2輪車製造者協会は、2014年度上期(49月)の加盟5社の新車販売が125万759台だった。初の公式統計。ホンダ、ヤマハ発動機など大手5社が協会を立ち上げた。(時事＝6面)

韓国・現代自、HV開発
「プリウス」対抗
韓国・現代自動車は、同社初のハイブリッド車(HV)を開発中であることを明らかにした。トヨタ自動車の主力HV「プリウス」に対抗する。主要市場で進む排ガス規制に対応。(6面)

11月4日(火)

VW、インドネシアに新工場
2015年
独フォルクスワーゲンは、2015年にインドネシアで工場を建設する計画だ。VWのクリスチャン・キングラ副社長がインドネシアのサレ・フシン産業相との会談で伝えた。(時事＝5面)
王子、マレーシア紙おむつ工場
おむつ製造P/G株式80％取得
王子HDは、マレーシアにあるおむつ製造会社P/Gの発行済み株式80％を取得する。紙おむつの新工場を建設、成長が見込める東南アジアで拡張する。板紙2工場、段ボール6工場を所有。(9面)

11月5日(水)

ホンダ、タイ第3工場
2016年稼働／年12万台
ホンダは、タイ・ラテンブリ県のリ

自動車メーカーの中国新車販売	
	10月
トヨタ	104,700(27.1)
日産	104,400(29.0)
ホンダ	70,802(15.8)
マツダ	19,788(10.5)
富士重	4,056(19.6)
*単位台、カッコ内は前年同月比増減率%、▼はマイナス	

11月7日(金)

日産、SUV増産
15万台上乗せ／鄭州工場に新ライン
日産自動車は、鄭州工場で生産能力を増強する。2016年度にもラインを新設し、年産能力を10万・15万台上乗せし、SUVを生産する。中国全土の年産能力は最大195万台となる。(1面)

工作機械、中国で生産
豊和工業／日系自動車の要望
豊和工業は、中国で工作機械の生産を2015年春に始める。現地法人の豊和天津機床で自動車産業向けの変型MCを製造する。現地製を希望する日系自動車メーカーの要望に応える。(6面)

11月11日(火)

日中首脳が会談 - 2年半ぶり
戦略的互惠関係を推進
安倍晋三首相は、中国の習近平国家主席と会談した。首脳会談は2年半ぶり、で、戦略的互惠関係の推進など関係修復を目指すことで合意した。日中両国の重い扉が開き始める。(1面)

中韓FTA - 自動車は除外
韓国、高級車輸出の思惑外れる
韓国の産業通商資源省は、実質的に受けた中韓FTAの対象品目から自動車は除外されたことを明らかにした。韓国では高級車を中心に自動車の輸出拡大が期待されていた。(時事＝2面)

三菱ふそう、中国でバス製造
年産2000台／KD方式
三菱ふそうトラック・バスは、中国でバス事業に参入する。日本からノックダウン生産用の部品を輸出し、現地企業のユエダが江蘇省の工場で組み立てる。年産2000台規模。(5面)

中型ダイカスト機械、中国生産
宇部興産機械／東洋機械金属
宇部興産機械は、業務提携する東洋機

ジャーナ工業団地に設置する4輪車の第3工場を2016年3月に稼働させる。内需低迷を受けて稼働計画を延期していた。小型車を中心に年12万台体制。(5面)

橋本精密、ベトナムに新工場
光学・OA機器・自動車部品
橋本精密工業は、ベトナムに進出する。現地子会社「橋本精密ベトナム」を設立した。新工場では光学機器やOA機器などの精密部品、自動車関連部品を生産する。(6面)

11月6日(木)

タイで精密部品増産
TEKNIA／半導体製造装置向け
TEKNIAは、タイ・チョンブリー県の精密部品加工工場の生産能力を増強する。自動車、半導体製造装置向けなどの部品を手がける現地日系企業からの受注増に対応する。(7面)

ローム、タイに新工場
LSI後工程／4割増強
ロームは、車載用電源ICなどを増産するため、タイにLSI後工程の新工場を建設する。タイとフィリピンに拠点を持つ。新工場によって同社全体のLSI生産能力を4割増強。(8面)

11月7日(金)

マツダ、タイでエンジン生産
スカイアクティブ／年3万基
マツダは、新世代技術「スカイアクティブ」を採用したエンジンの組立工場をタイ・チョンブリ県に建設する。年産能力3万基。現地生産する小型車の新型「マツダ2(日本名デミオ)」用。(5面)

パイオニア、地図作成で合併
タイ／カーナビ向け
パイオニアは、デジタル地図作成の完全子会社を通じて、東南アジアにカーナビゲーション事業の足がかりをつくる。タイ地図会社と12月に合併会社をバンコクに設立する。(5面)

ダイヘン、インドに2拠点
溶接機・多関節ロボ
ダイヘンは、溶接機や多関節ロボットの溶接メカトロ事業で海外営業拠点を拡充する。インド南部と西部に営業サービス拠点を新設。ブラジルに初の営業法、メキシコに営業第2拠点を。(6面)

11月11日(火)

東芝、電力変圧器工場を増強
インド／高電圧・大容量も生産
東芝は、電力・配電用変圧器・開閉装置を生産するインド工場の設備を増強する。約30億円投資。中小容量品に加え、新たに高電圧・大容量製品を生産できる設備を構築する。(3面)



日中関係改善に積極姿勢を示した中国の習近平国家主席(ブルームバーグ)

械金属とダイカストマシンの中型機(型締め力500トン)「UB500iC」を共同開発した。宇部興の中国現地法人で生産する。中国、韓国などアジアで販売。(6面)

11月12日(水)

スミダコーポ、中国に新工場
車載用コイル／北米・東欧を拡張
スミダコーポレーションは、2015年度に約60億円を投資、中国、北米、東欧の世界3地区で車載用コイルの増産体制を整える。中国で新工場の建設に着手。北米と東欧の3工場を拡張する。(9面)

日本空調サービス、蘇州に拠点
中国5カ所目
日本空調サービスは、江蘇省蘇州市近郊に中国で5カ所目となる営業拠点を2015年中に開設する。自動車部品や化学、医薬関連メーカーの生産拡大で堅調な需要が見込める。(14面)

11月13日(木)

温室効果ガス削減 - 米中合意
米28％削減／中2030年ピーク
オバマ米大統領と習近平中国国家主席は北京で会談。温室効果ガスの削減目標などで合意。米国は2025年までに26％削減。中国は総排出量が2030年にピークになることで同意。(時事＝1面)
画像診断装置で日本参入
上海ユナイテッド
上海ユナイテッドイメージングヘルスケアは、画像診断装置で日本に参入する。PET-CT装置で薬事法申請の準備を進めている。アジアや中南米、中東などに展開。(11面)

今回は -
「中国・アジア ダイジェスト」面の
今回は12月1日(月)に掲載します。

11月14日(金)

新ブランド「華領」
公用車・社用車／華晨汽車
中堅自動車メーカーの華晨汽車は、官庁の公用車や企業の社用車を主ターゲットとする新たなブランド「華領」を導入する。提携相手である独高級車大手のBMWが技術支援した。(5面)

良品計画、成都に世界旗艦店
ショッピングモールに出店
良品計画は、グループ会社を通じ成都市に世界旗艦店「無印良品成都太古里」を12月12日にオープンする。成都の繁華街に近い史跡、大慈寺を中心としたショッピングモールに開く。(15面)

SBI、元建て送金
銀聯カード口座／3000ドル
SBIホールディングスは、中国国内の主要銀行が発行した銀聯カードの指定口座に人民元建てで送金できるサービスを始めた。1回の送金限度額は3000ドルで年間5万ドル。(17面)

TELOP

全日空、羽田 香港を増便
深夜・早朝枠を活用(29日14面)
北京に研究開発センター
タイムラー／拡大戦略(時事＝5日5面)
中国で交通管理実証
NTTデータ(12日9面)
神龍汽車、新車販売27％増
10月6万台／ブジョー45％増(13日5面)
高機能不織布、中国に投入
クラレクラフレックス(13日13面)

ひと
不安は水に流す
「中国は不動産投資が抑制されていると言われながらも堅調」とTOYO C社長の喜多村円さん。
不動産バブルが懸念される中国だが「北京、上海から離れた周辺都市を開拓。『あこがれのブランド』の地位を確立しているのが心配ない」と、不安は水に流す。(7日＝13面)

ASIA

10月27日(月)

ブリヂストン、ベトナム開所式
世界輸出基地／日産4万9000本
ブリヂストンのベトナム工場が、開所式を24日開いた。乗用車用汎用タイヤの世界輸出基地として、すでに4月から稼働を開始。生産能力を2014年に日産1万本、2017年に同4万9000本。(6面)

タスコ、東南アに販社
空調用工具／初の海外拠点
タスコジャパンは、東南アジアで現地販売会社を2015年度設立する。空調用工具で国内シェア75％の最大手だが、海外拠点は初。タイ、インドネシア、ベトナムが候補。(6面)

韓国バラキシレン工場稼働
年産100万トン／JXエネ合併
JX日鉱日石エネルギーは、韓国SKグローバルケミカルと合併で建設したバラキシレン製造工場の竣工式を行った。年産能力100万トン。JXエネは年50万トンを引き取り、アジアに拡張。(17面)



バラキシレン工場の竣工式(JXエネ)

10月28日(火)

タイにエンジン部品工場
福寿工業／日系向け
福寿工業は、タイの自動車エンジン部品工場を本格稼働した。燃料噴射ポンプ部品などを生産。現地の日系車部品メーカーなどに供給する。海外工場は中国広東省に次ぎ2カ所目。(5面)

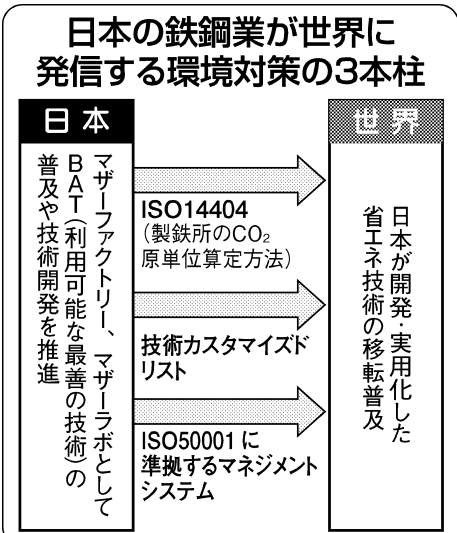
インドから気象レーダー受注
東芝／高精度に雨量・風速
東芝は、インドの気象庁から気象レーダーを受注した。半径80キロの範囲で高精度に雨量や風速などを観測する。日本国外で気象レーダーを受注したのは初めて。体積や消費電力が少ない。(8面)

10月29日(水)

認定販売店、ベトナム3倍
ブリヂストン／促進を支援
ブリヂストンは、ベトナムで乗用車用

タイヤの認定販売店を2019年に3.6倍の72店に拡大する。認定店を戦略チャネルとして、重点的に販売促進活動を支援する。(7面)

鉄連、環境技術をインドに提案
新たに水処理など
日本鉄鋼連盟は、鉄鋼分野の環境対策技術を海外に移転・普及させる取り組みにおいて、従来の省エネ技術に加え新たに水処理など環境技術を盛り込み、インドに提案する。(13面)



再利用可能ドラム容器レンタル
住商グローバル・ロジ／シンガポール社と提携
住商グローバル・ロジスティクスは、再利用可能なドラム容器のレンタルで、シンガポールのILPSと提携する。廃棄費用が不要となるほか、省スペース化。小容量の輸送に対応。(15面)

10月30日(木)

エンジン、マレーシアで外販
ダイハツ／ATも
ダイハツ工業は、マレーシアで、提携関係にないプロトンなどの国産車メーカーに小型車用パワートレーンの供給を提案する。アルミニウム製エンジンと電子制御式自動変速機(AT)。(6面)
プラズマTVの生産終了
韓国LG電子／月内
韓国LG電子は、プラズマテレビの生産を11月末までに終了させる見通し。液晶テレビが世界市場において主力製品となる中、生産終了は幅広く予想されていた。(時事＝10面)
兼松KGGK、インドネシア拠点
日系向け／工作機械・産業機械
兼松KGGKは、インドネシアの西ジャワ州ジャバベカ地区に営業所を設立する。周辺地域の工業団地に進出する日系企業向けに、工作機械や産業機械の販売および保守サービスを展開。(16面)

TELOP

フィリピンのIT企業と提携
野村総研(28日9面)

中国を上回る強い基盤
「力を入れるのはインドだ」とソフトバンク社長の孫正義さん。同国最大のeコマースサイト運営・スナップディールの筆頭株主に。インドは25歳未満が5割。英語を話す人も多い。ソフトウェア開発者は世界最多。「中国を上回る強い基盤がある」。(7日＝9面)